



2015年3月2日

『東急セキュリティ 侵入検知サービス』を開始 -新たな防犯サービスの提供、安心・安全な街・沿線の価値向上へ貢献-

東急セキュリティ株式会社

パナソニック システムネットワークス株式会社

東急セキュリティ株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役：波戸 覺、以下東急セキュリティ）は、2014年4月に開所した『東急セキュリティ 画像監視センター』に、パナソニック システムネットワークス株式会社（本社：東京都中央区、代表者：高木 俊幸、以下パナソニック）の画像解析システムを活用した侵入検知機能を追加します。

これにより東急セキュリティは、2015年3月より『東急セキュリティ オンライン画像監視サービス』に『侵入検知サービス』を新たに追加し提供します。

■概要

東急セキュリティでは、パナソニックの技術を採用した『東急セキュリティ オンライン画像監視サービス』の運用を2014年4月より開始しました。最大10,000台の監視カメラを集中監視でき、大容量画像の集中記録や保管を実現し、効率的な画像監視・管理を可能としております。

これに加え、このたび東急セキュリティが新たなサービスとして提供を開始する侵入検知サービスでは、カメラに搭載された侵入検知機能（あらかじめ定めた検知範囲内に人物が侵入した場合、画像解析技術を活用し、異常検知信号を東急セキュリティ画像監視センターへ自動で通知する機能）により、異常が認められた場合には警備員が異常箇所へ迅速に駆けつけるなどの対応をします。これにより、侵入を制限している箇所や、夜間時に人の立ち入りを禁止している箇所において、更なる警備レベルの向上を図ります。

東急セキュリティは、この侵入検知サービスを含むオンライン画像監視サービスを今後、東京急行電鉄株式会社の鉄道施設および東急グループ各施設、東急線沿線の商業施設、学校、工場施設、商店街をはじめ、戸建やマンションなどの住宅街などへ提供します。また、画像解析技術を活用したオンライン画像監視サービスの機能を高度化させ、サービスメニューの拡充を図ります。

東急セキュリティは東急線沿線における安全・安心な街づくりを目指し、「東急線沿線が選ばれる沿線であり続ける」ために寄与してまいります。

パナソニックは、2020年にむけたセキュリティニーズの高まりをふまえ、画像監視サービスを通じ、セキュリティ事業（セキュリティシステム・画像解析技術など）をより一層強化してまいります。

侵入検知サービスの詳細は別紙をご参照ください。

【別紙】

■侵入検知サービス提供イメージ

あらかじめ定めた防犯カメラの検知範囲内に人物が侵入し異常を検知した場合 (①)、異常検知信号を東急セキュリティ画像監視センターへ自動で通知します。その映像を確認 (②) し異常が認められると、最寄りの警備員待機所へ連絡を取り (③)、警備員が異常箇所へ迅速に駆けつける (④) などの対応をします。また、オプションで現地に対して、遠隔での音声威嚇や相互通話する機能を追加することが可能です。

